

# 【魚沼市】小平尾石工とその作品を巡る旅

Uonuma city - Obiuro stonemason work tour

小平尾石工は、安政4(1775)年に信州高遠(長野県上伊那郡高遠町)の石工たちが、地元の小平尾石(安山岩)を利用して、菅原神社の石鳥居を作り、その技術を得て誕生しました。江戸時代の終わりに始まり、小平尾集落は「石工の村」として栄え、明治から昭和初期に村内の石造物をはじめ、北魚沼地域のものも小平尾石工の手により製作されました。その中で、石工要吉をはじめ、高橋和助、そして高橋楽山が誕生しました。集落のお宮やお堂、天然記念物などの文化財を巡りながら石仏をご覧になってはいかがでしょうか。

In the fourth year of Ansei (1775) the craftsmen at Shinshu Takato (Kotoiwa-cho, Kamiina-gun, Nagano Prefecture) used local Obiuro stone (andesite) to make a revolutionary stone torii gate at Sugawara Shrine. Obiuro village the stonemasons village prospered from the end of the Edo era, throughout the Meiji era and into the early Showa era, influencing stonemasons throughout Kita Uonuma. During this time famous masons Yokichi, Takahashi Wasuke and Takahashi Rakuzan were born. Why don't you come take a look at the stone Buddhist images and visit some cultural palaces, natural monuments and temples in the village?

MAP  
 JR只見線 越後広瀬駅  
 住所/新潟県魚沼市並柳  
 Echigohirose station (JR Tadami Line)  
 Namiyanagi, Uonuma city, Niigata



小平尾石工とその作品を巡る旅モデルコース【車で2~3時間コース:約14km】

越後広瀬駅	→	①②③	→	④	→	⑤	→	⑥	→
		4.1km		930m		800m		350m	
⑦	→	⑧	→	⑨	→	⑩	→	⑪	→
		500m		650m		850m		2.4km	
								2.6km	
									250m
⑭ 滝之又の二本杉									

◎スニーカーでOKです。



①小平尾の三十三観音・釈迦・阿弥陀  
Sanjusan Kannon · shaka · Amida at obiuro  
西国三十三番観音を模した観音像に釈迦如来と阿弥陀如来を加えた35体の仏像が彫られています。石工要吉の作品で、石彫の精緻さが光る作品です。



②小平尾の聖観音  
Syo Kannon at obiuro  
小平尾集落墓地内には多くの聖観音・如意輪観音があります。



③小平尾の如意輪観音  
Nyoirin Kannon at obiuro



④小平尾の青面金剛  
Syomenkongou at obiuro  
石工高橋助右工門の作と云われ、股間から動物の頭が突き出たり、腰に龍頭が彫られ、邪鬼のうち右足下には猿が彫られており、精緻を極めた作品です。



⑤馬淵の薬師如来  
Yakushi nyorai at Mabuchi  
馬淵で水難事故で亡くなった子の供養のために建立したとされる高橋楽山作の薬師如来像が祀られています。楽山の作品の中でも傑作の1つです。



⑧小平尾の双体道祖神  
Soutai Dousojin at obiuro  
1基の双体像をはじめ5基の道祖神が現存します。



⑨小平尾石採掘場  
"Obiuro Stone" Quarry Monument  
江戸時代後期後半~昭和にかけて、ここから小平尾石(安山岩)を採掘して、石仏や墓碑が製作されました。



⑥-1 下の窪の十二神社  
Juni Shrine at shimo no kubo  
十二神社(石祠)…駒犬で彫られ、非常に細かな技術が垣間見えます。



⑥-2 下の窪の軍馬  
War horse at shimo no kubo  
戦争に供出され、戦死した飼馬を供養した石仏と考えられています。



⑦天満宮境内  
Tenmangu Grounds  
2基のうずくまった牛を模した石造物をはじめ、多くの石仏群が現存します。菅原道真を祀る八幡宮の多くは、境内に牛像が建立されます。うずくまった牛には諸病平癒の力があるとも考えられています。



⑭滝之又の二本杉(県指定天然記念物)  
Doble Cedar at Takinomata  
諏訪神社境内の2本杉で、推定樹齢800年の大杉です。1本は、樹高49m、周囲7m。もう1本は樹高47m、周囲6mを囲みます。昭和44(1969)年3月、県の天然記念物に指定されました。



⑫滝之又の観音堂境内  
Grounds of Kannon at Takinomata  
観音堂の本尊は、馬頭観音で、三面八臂の馬頭観音です。



⑬滝之又の観音堂周辺  
Nyoirin Kannon around  
Kannon-do at Takinomata



⑩折中トンネル前広場地蔵尊  
Jizouson at plaza in front of  
Sechu tunnel  
馬淵の薬師如来像と同様、高橋楽山作と伝えられています。



⑪外山の聖観音  
Syo Kannon at Sodeyama  
集落墓地内に、蓮華を持つ聖観音です。その彫りの特徴から高橋楽山の作品と考えられます。